

竪穴住居復元にむけてGO!



桑の皮むき



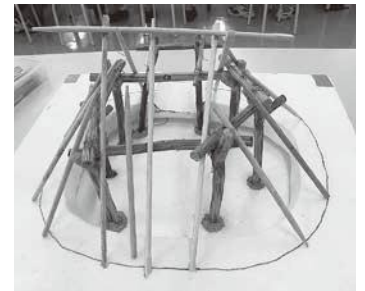
これまでの竪穴住居を解体



竹で作った道具で桑の皮むき



竪穴住居について学習



竪穴の模型を使い住居の構造を学習

5月からいよいよ竪穴住居復元のプロジェクトが始まりました。最初はこれから復元する竪穴住居について学習です。埼玉県の水子貝塚で復元されている竪穴住居を見学したり、復元する陸平A貝塚で見つかった縄文時代の竪穴住居がどのような状態で見つかり、どのような形に復元していくのか、研修を行いました。

その後は実践です。材料も調達から加工、組み立てなど全て皆での共同作業です。最初の作業は縄の材料として使う桑を調達し、皮をむきました。本格的な作業はこれからで、復元は1年かけて行われます。完成が楽しみです。

また新緑の陸平貝塚公園では、ゴールデンウィーク中の5月3日に体験イベント「縄文体験の日」を開催しました。一日だけのイベントでしたが、今回は160人以上もの方々が体験を楽しんでくれました。村内はじめ県外から家族で来館された方も多く、またみほ一すも来て子どもたちと楽しくふれあい、文化財センターは大変にぎわいました。文化財センターでは夏休みにも体験イベントを開催しますのでどうぞ遊びに来てください!



親子でまが玉作り（縄文体験の日）



安中小5年生が古代米の田植え



土器作り（縄文体験の日）



文化財協力員が展示を案内

「美浦かるた」で知る みほの文化財

今回の札は

「く」

黒坂の命の墓は ハメートル

黒坂の命の墓は、大塚地区の霞ヶ浦を望む場所に位置している黒坂命古墳（註）で村指定の史跡です。

古墳は土を盛って造られている古墳時代のお墓です。黒坂命古墳は丸い形で、高さは約8mあり、造られたのは古墳時代中期前半（5世紀頃）と推定されます。黒坂命古墳という名称は、1847年（江戸時代の終わりの弘化4年）に古墳に祀られていた稻荷社を地元の人々が移動する際に石棺や副葬品等が出土し、そのことを土浦市の色川三申という国学者が記録した『黒坂命墳墓考』という書物の中で黒坂命の墓ではないかと考察したことによりです。

黒坂命は「常陸国風土記」の中で陸奥（東北地方）を征討した人物として登場し、征討の帰路に黒前山（現在の日立市）で病死したとされています。古墳から出土した副葬品は鏡や剣、甲冑、石製模造品などが記録されていますが、甲冑は見つかってすぐに壊れてしまい、ほかの副葬品については現在の所在は不明です。

黒坂命が実在した人物かどうかはわかりませんが、少なくとも千年以上も前に私たちの住む地域にリーダー的な人物がいて、多くの人の手により古墳がつくられ葬られたのは確かなことです。黒坂命古墳は見学することができます。

註 黒坂命古墳はこれまでに大塚古墳、弁天塚古墳と呼称されてきたことがあります。

大塚古墳群第1号墳として美浦村の遺跡一覧に登録されています。

美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村の魅力を紹介しているかるたです。



黒坂の命の墓は
ハメートル

美浦村の地名12

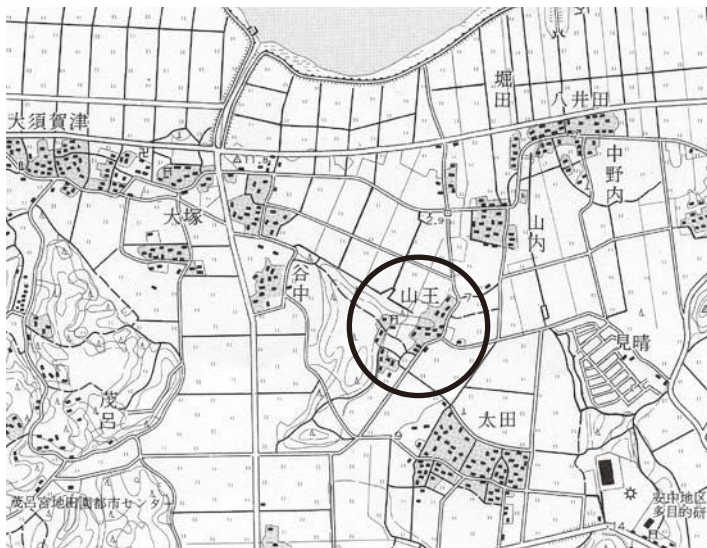
山王地区

安中地区の山王地区は谷中・木・定光・山内地区に囲まれた位置にあります。地区の東側には山王山古墳があります。山王山古墳は霞ヶ浦を見渡す段丘の先端部に築かれています。調査をおこなっていないため詳しいことはわかっていませんが、直径およそ75mを測る村内最大級の円墳です。古墳の南側には日枝神社が祭祀されています。

山王山古墳から1キロもない距離の大塚古墳群もありその関係も注目されます。

た地名もあります。十王や稲荷下、薬師堂など信仰と関係があると思われる名称のほか、オハカ、ニンギョウヅカ、ウシガハカなどかつて塚や古墳があったのではないかと思われる名称もみられます。

小字名には山王、山王久保、山王山など山王のつく名称がありますが、なかでも峯、峯ノ内、峯ノ門、峯ノ下、峯門、高峯など峯（ミネ）がつく名称が多くあります。峯は高い場所を示していると思われる古墳と関係があるかもしれません。下沼、菅沼などの沼、山王久保や向地久保、小山久保などの久保、土川、太田川などの川、汐入、谷津、新堀など山王地区の地形をあらわし



第3回 御茶園西遺跡をさぐる! 縄文時代②

御茶園西遺跡は平成 25 年度に遺跡の一部を発掘調査し、約 4,000 年前の縄文時代後期と約 1,500 年前の古墳時代後期の暮らしを知るさまざまな発見がありました。



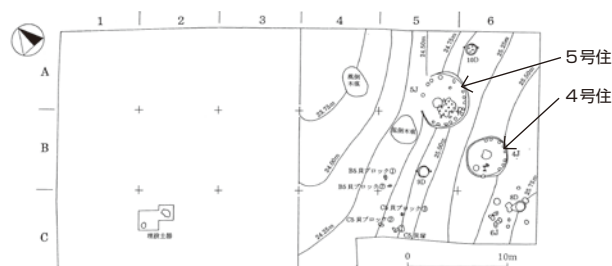
遺跡から出土した状況。大きめの土器の破片だけを残して写真を撮りました。土器と土器との間にすきまがあるようにみえますが、そこには小さな土器の破片がたくさんありました。縄文時代には写真の右から左にかけて緩やかに傾斜している地形でした。

今回は御茶園西遺跡から出土した縄文土器についてご紹介いたします。御茶園西遺跡は調査した面積の約半分の範囲（24 × 22 m）から大量の縄文土器が出土しました。その土器の破片の数はおよそ 9 万点！しかもその土器の時期は縄文時代後期に限られています（註）。これらの土器は谷に向かう緩やかな傾斜面に広がった状態で出土しました。後期の土器ばかりが出土している状況から、後期に縄文人が土器を廃棄するエリアを決めて廃棄していたことがわかります。さらに土器の出土状況を細かく調べてみると、谷底付近から土器を廃棄して、次第に斜面の高い方に土器を廃棄している傾向がみられました。実際に住居もみつかっています。

美浦村内ではこれまでに御茶園西遺跡と同じ縄文時代後期の生活跡が陸平貝塚や陣屋敷低湿地遺跡で確認されています。特に後者は谷底に大量の土器が廃棄されていました。大量に出土した土器を観察すると、土器がどのように作られ、使われ、転用されたか等さまざまなことがわかります。また他の地域からの情報もはいつてきて、形や文様に反映されている土器片もありました。

現在、文化財センターで出土資料を展示していますのでどうぞご覧ください。

註 縄文土器の型式名で表すと称名寺式、堀之内式、加曾利B式と呼ばれる後期の土器が出土しており、特に堀之内式が量的に最も多く、次いで加曾利B式が多い。



9万点もの土器が出土したのは、調査区A～Cの4～6の範囲。



出土した土器を間近で上から見てみるとこんな感じ。



出土した土器を土器と近い目線で見てみるとこんな感じ。

文化財センター 夏の体験ごあんない

暑い夏、文化財センターで体験を楽しみながら過ごしませんか。子どもから大人まで楽しめます。どうぞお気軽にご参加ください。

場所はすべて美浦村文化財センターです。申込・問合せ先 ☎029-886-0291

開催日	時間	体験メニュー	体験料	最終受付時間	
7/28 (土)	9:30	縄文土器	800円	11:00	事前 予約 不要
		ミニ土器	400円		
		縄文クッキー	100円		
7/29 (日)	}	まが玉	200円	14:00	
さき織り		500円			
8/4 (土)	16:00	どんぐりカレンダー	200円	15:00	
8/5 (日)		どんぐり時計	500円		
		土笛	300円		
		絵手紙	100円		

※土器・土笛・さき織り作品は後日お引渡し。さき織り体験は、はたおり機に足が届かない場合ご遠慮いただく場合があります。



第21回 陸平縄文ムラまつり!

今年は10月21日(日)に開催します。

まつり恒例の^{りょう}俚謡コンテストに参加してみませんか。作品を募集します!

〈俚謡コンテスト応募要領〉

- おひとり一作品。
- 送付先 文化財センター
(ハガキ、FAX、メール、窓口)
- 作品のほかに氏名、住所、電話番号を明記。
- 9月30日(日)必着

俚謡は時代や社会風刺、日常の喜怒哀楽をつづる26文字のうたです。

●俚謡の作り方

- | | |
|-----------|-----------|
| 7文字 (3・4) | 7文字 (4・3) |
| 7文字 (3・4) | 5文字 (5) |
| みほの みほーす | とっても かわい |
| みほの だいちを | かけめぐる |

石器作り体験

石器作りの達人から石器の作り方を教えてもらおう! 本格的な石器を作ります!

- ◆日にち 8月19日(日) 13:30~
- ◆体験料 500円
- ◆募集人数 15名(小学4年生以上)
- ◆申込み 要申込み。8月10日まで
- ◆講師 小菅将夫先生(岩宿博物館館長)

第23回 梅朝基礎落語

好文亭梅朝さんがみなさんを落語の世界へお連れします。

笑う門には福来る!

- ◆日時 9月2日(日)
午後1時30分より
- ◆当日直接お越し下さい。



安中ボランティアの皆さんが文化財センターの花壇手入れ



5月の陸平から絵手紙! 夏は陸平から暑中見舞いを出そう!



昔の機械で田んぼの除草作業



6月に開催した梅朝基礎落語

9月もお楽しみに!

体験や見学の申込み・お問合せは文化財センターへ 電話 029-886-0291